

令和元年度米軍基地周辺地下水質調査(環境政策課)

施設・区域名		調査地点番号		牧港補給地区		普天間飛行場		キャンプ瑞慶覧		キャンプ桑江		
調査地点名		一律排水基準 (mg/L) <水質汚濁 防止法>	地下水基準 (mg/L) <土壌汚染 対策法>	① 仲西ウフガー	② 屋富祖 メヌカー	③ メンダカリ ヒーガー	④ 我如古 ヒージャーガー	⑤ チュンナガー	⑥ 喜舎場 ウフカー	⑦ 北谷町役場	⑧ 宇地原 ホースガー	
調 査 項 目	重 要 地 下 水 項 目 類 (要 監 視 の 目 的)	ニッケル	—※5	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
		モリブデン	—※5	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		アンチモン	—※5	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		全マンガン	—※5	<0.02	<0.02	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.38	<0.02
		ウラン	—※5	0.002※4	0.0005	0.0008	0.0004	0.0002	0.0004	0.0004	0.0005	0.0008
	第 1 種 特 定 物 質 (化 審 法 ※ 6)	ヘキサクロロベンゼン	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		アルドリン	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		ディルドリン	—※5	—※5	23	ND	23	14	30	34	ND	7.0
		エンドリン	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		DDT	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		クロルデン	—※5	—※5	43	ND	53	28	43	100	3.0	16
		ケルセン (ジコホル)	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		ヘキサクロロシクロヘキサン	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		ポリ塩化団フタレン (PCNs)	—※5	—※5	3.1	0.1	3.7	3.2	3.4	9.1	0.5	1.0
		マイレックス	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		ペンタクロロベンゼン	—※5	—※5	0.0	(0.003)	0.0	0.0	0.0	0.0	ND	0.0
		エンドスルファン	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		トキサフェン	—※5	—※5	ND	ND	ND	ND	ND	(0.8)	ND	ND
		PFOS	—※5	—※5	18	28	430	10	470	3.8	30	19
ペンタクロロフェノール (PCP)	—※5	—※5	0.1	0.2	0.0	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1		
備 考	※1 地下水環境基準の項目、基準 ※2 海域以外の公共用水域に排出されるもの ※3 海域に排出されるもの ※4 指針値。 ※5 特に基準等無し。 ※6 化審法第1種特定物質の単位は「ng/L (= ppt)」											

令和元年度米軍基地周辺地下水質調査(環境政策課)

施設・区域名		牧港補給地区		普天間飛行場		キャンプ瑞慶覧		キャンプ桑江	
調査地点番号		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
調査地点名		仲西ウフガー	屋富祖 メヌカー	我如古 ヒージャーガー	メンダカリ ヒーガー	チュンナガー	喜舎場 ウフカー	北谷町役場	宇地原 ホースガー
		一律排水基準 (mg/L) <水質汚濁 防止法>							
調 査 項 目	採水月日		2月6日	2月6日	2月6日	2月6日	2月7日	2月7日	2月7日
	採水時刻		10:10	10:50	11:30	13:10	10:20	10:55	13:10
	天 候		晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	曇り	曇り
	気 温 (°C)		17.6	18.5	18.1	18.2	20.8	20.7	23.5
	水 温 (°C)		23.4	21.2	23.6	19.4	23.0	21.3	23.6
	色相		無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
	臭気		無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭
	透視度 (cm)	—※1	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
	電気伝導率 (μS/cm)	—※1	655	828	732	626	676	765	860
	ORP(V) (vs 標準水素電極) (mV)	—※1	443	410	390	405	415	409	197
	pH	5.8~8.6※2	7.2	7.3	7.2	7.7	7.2	7.1	7.1
	DO (mg/L)	7.5 以上※3	6.4	3.3	8.0	8.2	7.5	6.1	7.5
	全亜鉛 (mg/L)	2 以下※2	<0.003	0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.045	0.010
	硝酸性窒素 (mg/L)		2.8	0.50	2.4	5.2	3.1	6.4	0.27
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	100 以下※2	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	アンモニア (mg/L)		0.04	0.02	0.04	0.02	<0.05	<0.05	0.22
	鉄及びその化合物 (mg/L)	0.3※4	0.14	0.003	0.019	0.058	0.026	0.10	1.7
	鉛 定量値 (μg/L) ※5	10 μg/L	0.148	0.028	0.028	0.072	0.040	0.173	1.101
	鉛同位体比※1 ²⁰⁸ Pb/ ²⁰⁶ Pb	—※1	2.098	2.111	2.098	2.105	2.130	2.123	2.100
	〃 ²⁰⁷ Pb/ ²⁰⁶ Pb	—※1	0.850	0.862	0.865	0.857	0.856	0.874	0.861
全有機炭素量 (TOC) (mg/L)	3.0※4	0.68	1.1	0.98	0.88	0.62	0.90	1.1	
土壌粒子径※3	—※1	>0.45μm	>0.45μm	>0.45μm	>0.45μm	>0.45μm	>0.45μm	>0.45μm	
備 考	※1 特に基準等無し。 ※2 水質汚濁防止法(一律排水基準)。 ※3 環境基準(河川)。 溶存酸素の地下水環境基準等はないため、参考値として、河川の環境基準値を記載。 ※4 水道水質基準。【参考値】 全有機炭素量と鉄の地下水環境基準等はないため、参考値として、水道水質基準値を記載。 ※5 鉛同位体比を考察する上で必要な情報と思われることから、通常の報告下限値とは別に、参考値として、定量値を記入。								

令和元年度地下水質調査ポイント(令和2年2月)

